



宮城南部流域国有林の 森林計画に関する住民懇談会

林野庁 東北森林管理局 仙台森林管理署



目 次

- 1 宮城南部計画区の特徴について**
- 2 計画区の主な取組状況について**
- 3 次期計画の基本的方針について**



1 宮城南部計画区の特徴について



●位置

宮城県のほぼ中央部から南部に位置し、奥羽山脈の山岳地帯、阿武隈山系北部丘陵、太平洋沿岸地帯。

●特徴

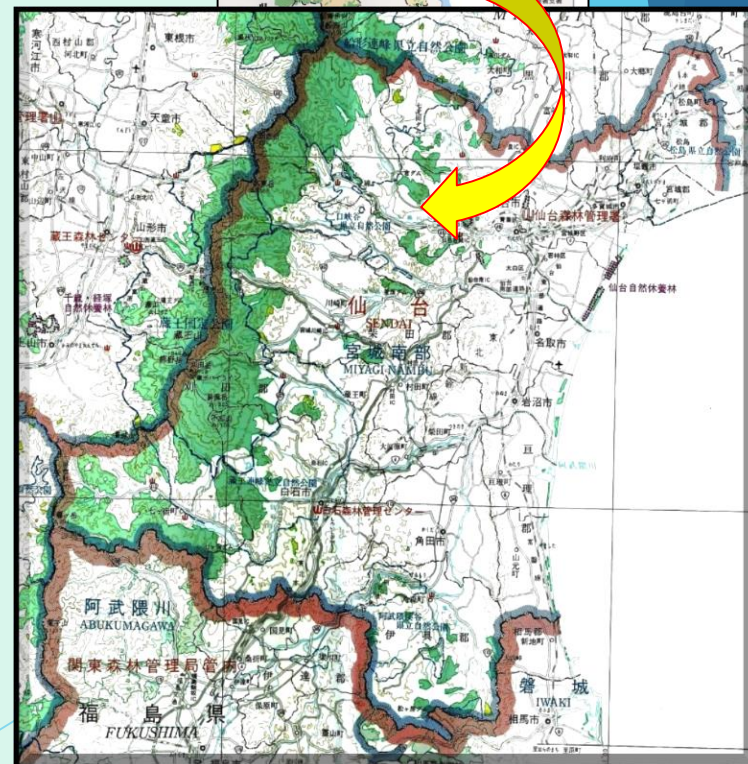
山岳地帯はブナ等広葉樹を主とする天然林が多く、蔵王国定公園をはじめ優れた自然環境を有する地域が多い。

●計画区内の国有林

奥羽山脈の山岳地帯、仙台市近郊の都市近郊林、太平洋沿岸の海岸林に大別される。

- ① 奥羽山脈の山岳地帯＝水源地帯、保健休養の場を提供、生物多様性の維持
- ② 仙台市の都市近郊林＝市民の貴重な憩いの場
- ③ 太平洋沿岸の海岸林＝生活環境保全機能の発揮

東北森林管理局管内図





宮城南部森林計画区在市町村面積

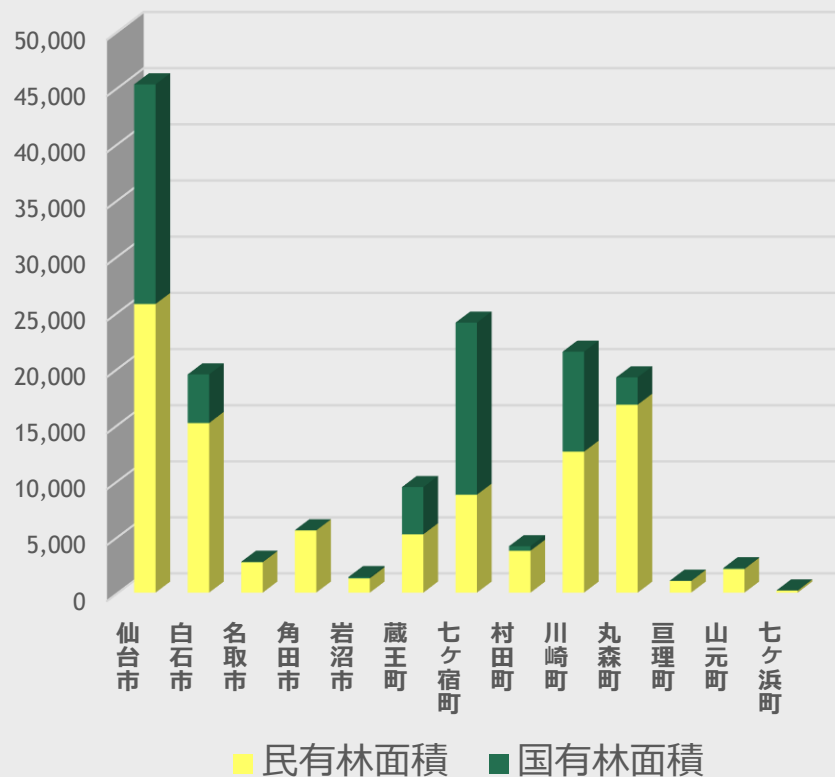
市町村名	区域面積	森林面積	民有林面積	国有林面積	森林率	国有林率
仙台市	78,630	45,271	25,723	19,548	59	43
白石市	28,648	19,579	15,251	4,328	68	22
名取市	9,817	2,738	2,701	37	28	1
角田市	14,753	5,573	5,561	12	38	0.2
岩沼市	6,045	1,386	1,269	117	23	8
蔵王町	15,283	9,429	5,205	4,223	62	45
七ヶ宿町	26,309	24,079	8,768	15,311	92	64
村田町	7,838	4,167	3,761	406	53	10
川崎町	27,077	21,436	12,538	8,898	79	42
丸森町	27,330	19,184	16,753	2,431	70	13
亘理町	7,360	1,059	1,036	22	14	2
山元町	6,458	2,138	2,065	72	33	3
七ヶ浜町	1,319	192	187	5	15	3
計	256,867	156,231	100,818	55,410	61	35
(参考) 宮城県	728,577	418,046	286,966	126,121	57	30

* 国有林所在市町村のみ計上

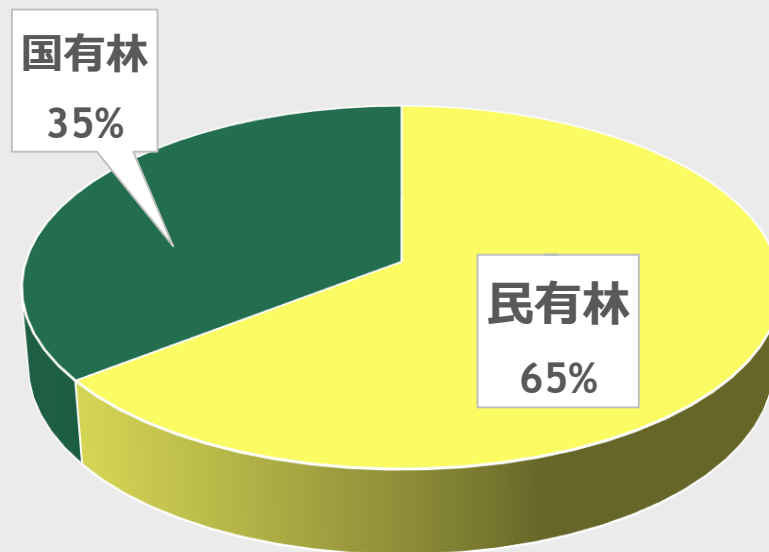


市町村別の森林面積と面積割合

市町別森林面積比率



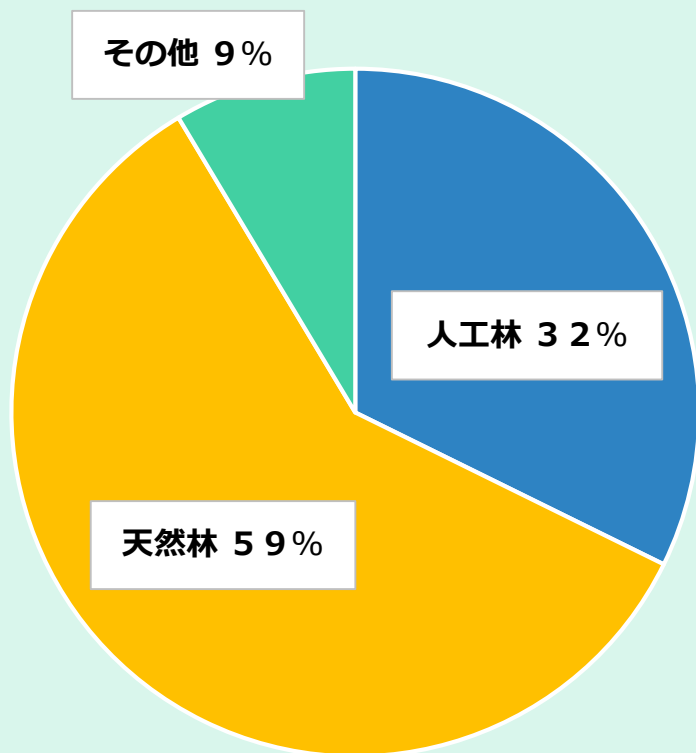
管内における森林面積割合



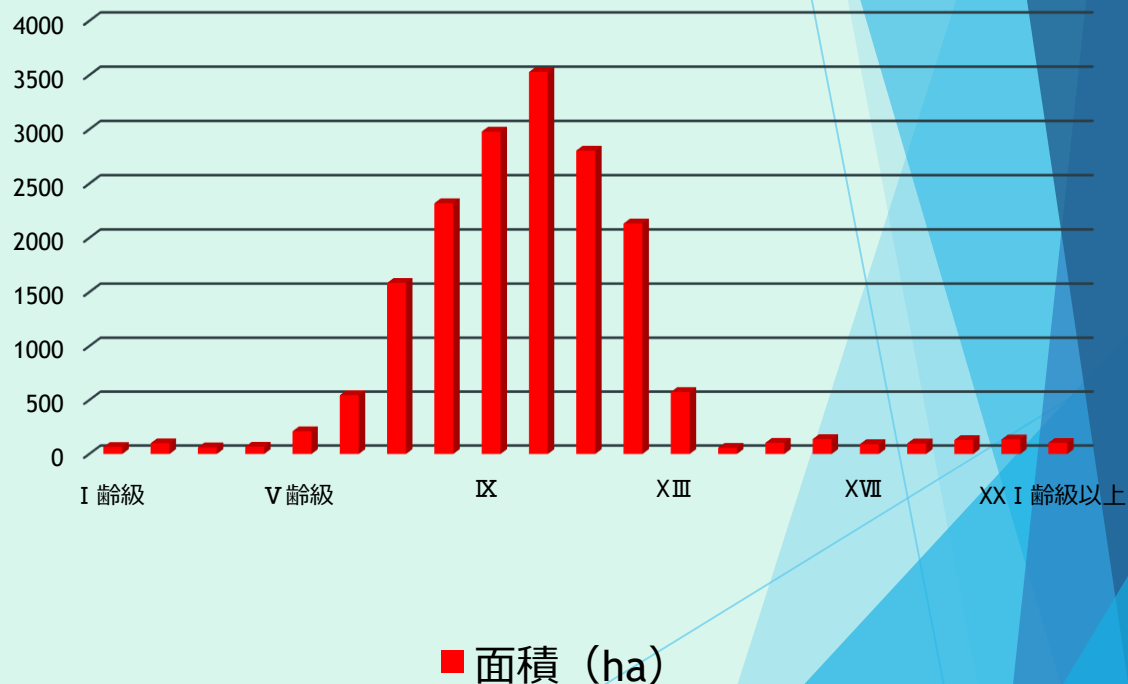


宮城南部森林計画区の林況

管内の人工林・天然林別割合



人工林の齢級別面積



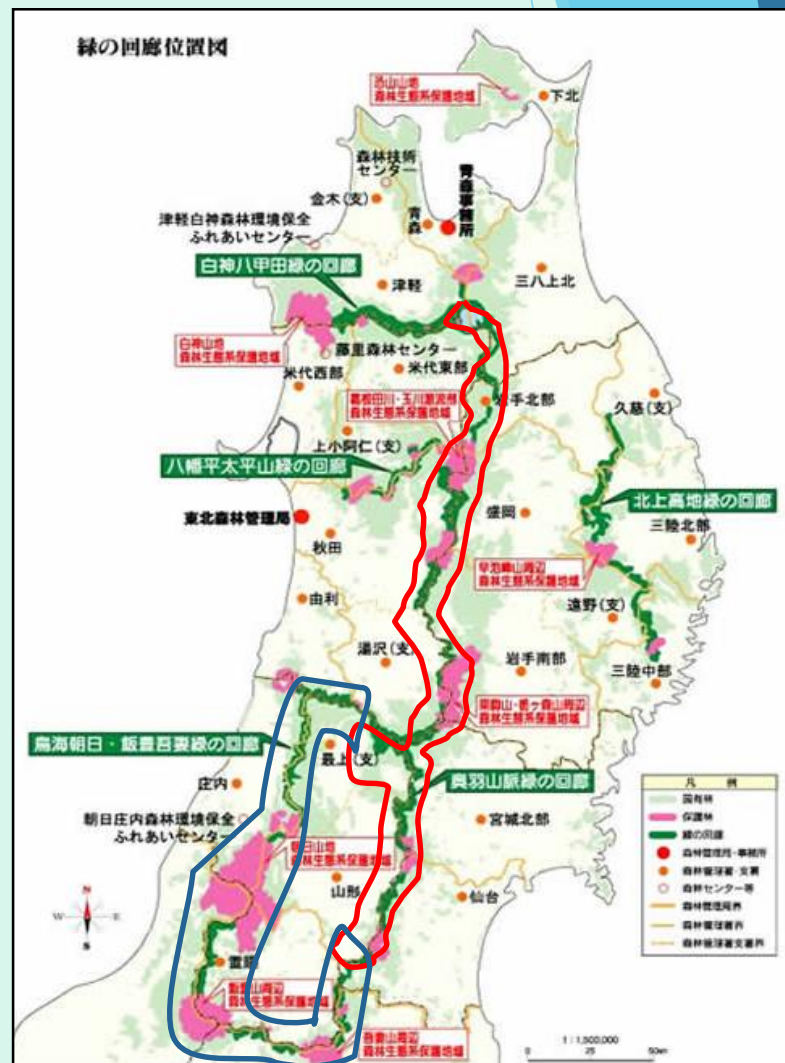
管内の特徴的な森林等（Ⅰ）

○ 緑の回廊の設定

管内には様々な「保護林」が設定されており、その保護林同士を連結し野生生物の移動経路を確保することによって、生息地の拡大と相互交流を促し、より広範かつ効果的な森林生態系の保全を図ることを目的として「緑の回廊」を設定しています。



蔵王山系南方を望む



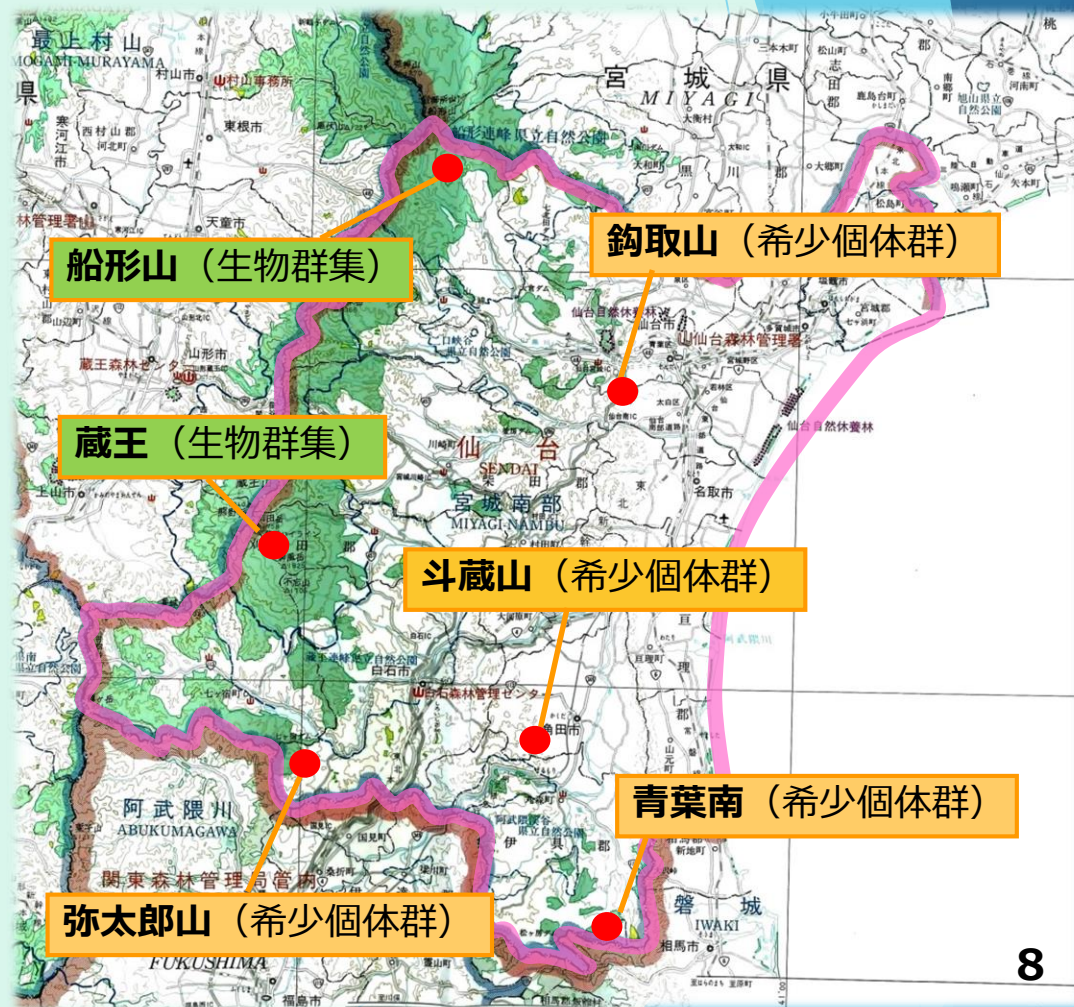
管内の特徴的な森林等（Ⅱ）

○ 保護林の設定

管内には、6カ所の保護林が設定されており、自然環境の維持、動植物の保護等を目的として区域を定め保護を図っています。



鉤取山のモミ





2 計画区の主な取組状況について



(1) 東日本大震災からの復興

○ 海岸防災林の再生

海岸防災林の再生にあつては、平成23年度から生育基盤造成工事を民有林・国有林を一体的に進め、平成30年度にすべての基盤造成が完了、植栽についても今年度でほぼ完了いたしました。



2013年1月



2018年6月

(2) アオモリトドマツの立ち枯れ対策

蔵王山周辺のアオモリトドマツの立ち枯れ被害については、宮城・山形両県にまたがり広範囲に及ぶ被害が明らかになりました。今後、検討会等を開催、対応を検討するなど議論を進めてきました。





(3) 林業活性化に向けた民国連携の取り組み

○ 早生樹の共同研究に関する協定の締結

宮城県、林木育種センター東北育種場及び民間企業と提携し、宮城県の気候風土に適した早生樹の共同研究に関する協定を締結、現在、生育状況等調査を実施しています。



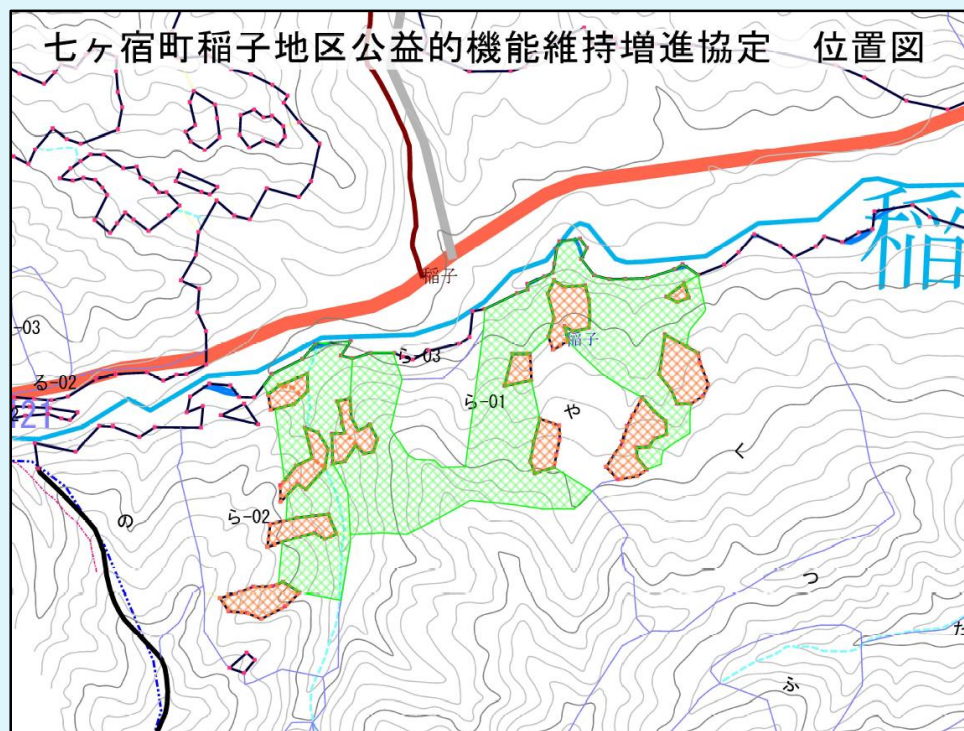
植栽したコウヨウザン



(3) 林業活性化に向けた民国連携の取り組み

○ 公益的機能維持増進協定の締結

七ヶ宿町稲子地区の国有林内に散在する民有林所有者 7 名と、公益的機能の維持増進のため七ヶ宿町長を立会人として、昨年 1 月東北森林管理局長と協定を締結しました。



赤い斜線部分が民有林



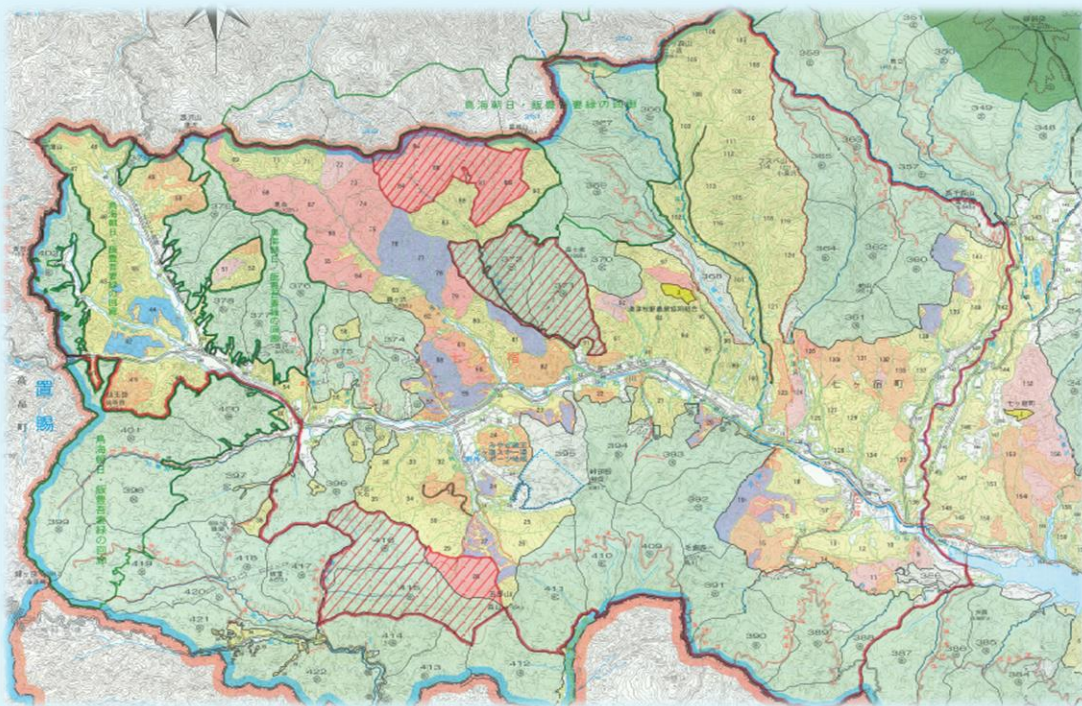
所有者 3 名とともに



(3) 林業活性化に向けた民国連携の取り組み

○ 森林整備推進協定の締結

昨年8月に「七ヶ宿町西部地区森林整備推進協定」を締結、今後民有林の集約化を図るとともに共同施業団地を設定し、七ヶ宿町における林業活性化に向け取り組むこととしています。



森林整備協定エリア（赤線部分、斜線部分は共同施業団地）

協定面積：約8,700ha

協定期間：令和3年3月31日まで





(4-1) その他の取り組みについて



ボランティアによる海岸林植樹

地元中学校の森林教室





(4-2) その他の取り組みについて



採材検討会の様子



グリーンサポートスタッフによる保全活動

3 次期計画の基本的方針について



● 次期計画策定に向けての基本的な考え方

① 海岸防災林の復旧

海岸防災林の復旧についてはほぼ完了しましたが、防災機能の確保と生物多様性に配慮した防災林を目指し、今後は保育作業の実施に努めます。



● 次期計画策定に向けての基本的な考え方

② 林業再生という課題の中での国有林の役割の発揮

地球温暖化防止対策も含めた主伐再造林の推進、計画的な木材供給等、民国連携して林業再生に向け取り組みます。



③ 豊かな自然環境の保全管理

優れた景観を有する貴重な天然林等や猛禽類等の希少野生動植物が数多く生息し、その特性に応じた保全管理に努めます。





● 次期計画策定に向けての基本的な考え方

④ 山地災害の防止

山地災害の恐れのある箇所には、適切な治山事業を計画し下流域の安全・安心の確保に努めて参ります。

さらには、昨年の丸森町をはじめとした豪雨災害について、被害箇所等の復旧に向け、関係機関と連携して取り組みます。



大猫沢における堤体工事



台風災害による林道の洗掘状況

● 次期計画策定に向けての基本的な考え方

⑤ 病害虫対策の徹底

マツクイムシ、ナラ枯れ被害等の病虫害対策についても、民有林と連携し蔓延の予防と防除に努めるとともに、アオモリトドマツの立ち枯れ被害についても継続して調査を進めます。



ナラ枯れ被害木処理



立ち枯れに対する現地検討会の様子



国民の森林・国有林

林野庁 東北森林管理局 仙台森林管理署

夕日にかすむ蔵王山系